



上村愛子さんの

# 食育に関する講演会

標記大会のアンバサダーである上村愛子さんの講演会を開催します。上村さんが現役時代にモーグル選手として心がけた体作りや、食事の管理、競技者としての心構えなどについてお話していただきます。この機会に、世界を舞台に活躍してきた上村さんのお話を聞いてみませんか！

- 日程／2月16日(木) 13:30頃(予定)～ ※1時間程度を予定。
- 場所／生保内小学校体育館 ■入場料／無料
- 出入口／体育館横の玄関からお入りください。
- 注意事項
  - ・会場に入りきれない場合は、入場制限をさせていただきます。また、人数が多い場合は立ち見になる場合があります。ご了承ください。
  - ・しっかりと防寒対策をしてきてください。
  - ・車の乗合いのご協力をお願いします。駐車場は市民会館前をご利用ください。

※詳細は下記までお問い合わせください(学校への直接のお問い合わせはご遠慮ください)。



## 上村 愛子さん Aiko Uemura

1996年にワールドカップ初出場で3位。翌シーズンからワールドカップにレギュラー出場し、世界トップ選手として活躍。オリンピックには長野大会から5大会連続出場。2008年には日本人初のワールドカップ総合優勝、翌年の世界選手権ではモーグル、デュアルモーグルを連覇。2014年に現役を引退。



## 2/18(土) モーグル予選・決勝 2/19(日) デュアルモーグル予選・決勝

FISフリースタイルスキーワールドカップの開催まで2週間余り。2月4日、5日には全日本スキー連盟A級公認のモーグル競技会も開催予定で、たざわ湖スキー場は徐々にモーグルワールドカップ開催の雰囲気になってきています。

今号では、会場周辺の駐車場・シャトルバスについてご案内します。ご来場の際の参考にしてください。



### 駐車場のご案内



車でお越しの場合は、スキー場周辺の駐車場をご利用ください。駐車場のご案内順は①～⑥の順となりますので、誘導員の指示に従って駐車してくださるようお願いします。また、当日は会場周辺の混雑が予想されますので、乗合いのご協力をお願いします。

### 駐車場一覧

- ①銀嶺第1駐車場
- ②水沢第2駐車場
- ③水沢第1駐車場
- ④かもしか第1駐車場
- ⑤かもしか第2駐車場
- ⑥下高野駐車場

### 無料シャトルバスのご案内



④・⑤かもしか駐車場⇄会場間と⑥下高野駐車場⇄会場間は無料シャトルバスを運行します。

【かもしか第1・第2駐車場⇄会場】

- 運行時間 18日(土) 7:30～16:30 (15分おき)
- 19日(日) 8:30～16:30 (15分おき)

【下高野駐車場⇄会場】

- 運行時間 18日(土) 7:30～16:30 (20分おき)
- 19日(日) 8:30～16:30 (20分おき)

※かもしか駐車場方面と下高野駐車場方面の乗降所は異なりますので、ご注意ください。



※田沢湖スポーツセンターには駐車しないようお願いします。

全日本スキー連盟A級公認  
2017 フリースタイルスキー  
秋田・田沢湖モーグル競技会

**2/4(土) モーグル予選・決勝**

**2/5(日) デュアルモーグル予選・決勝**

会場 たざわ湖スキー場

### お問合せ

FISフリースタイルスキーワールドカップ  
秋田たざわ湖大会 組織委員会事務局  
(仙北市教育委員会 スポーツ振興課内)  
☎ 0187-43-3390 URL <http://www.akitamogul.com/>

### お問い合わせ



FISフリースタイルスキーワールドカップ 秋田たざわ湖大会  
組織委員会事務局 (仙北市教育委員会 スポーツ振興課内) ☎ 0187-43-3390

### まちづくり日記

No.111

### 『事業連携の狙いと成果』

仙北市長 門脇 光浩

包括連携協定を締結した青山学院大学陸上競技部が、箱根駅伝で3連覇を達成しました。ゴール直後、チーム全員が一列に整列し、「皆さんありがとうございます」と頭を下げて、「こんな若者達に仙北市で合宿して欲しい。連れて帰りたい」と思ったほどです。その青山学院大学から、今月は10名の除雪ボランティア・雪国文化の体験視察が入ります。同大学の本部キャンパスは渋谷区で、その渋谷は世界に新たな若者文化の発信を続ける街です。言ってみれば都内の一等地に仙北市は活動拠点を確保したわけです。市内アーティストの発表の場、また観光と物産PRの場など、活用方法は無限です。

ところで、仙北市はこれまで多くの団体や企業・教育機関と連携協定を締結して来ました。最近では株式会社モンベル(アウトドア事業の国内最大手)と「野外活動の推進と防災協力」に関する協定を締結しました。全国73万人のモンベルクラブ会員を仙北市へ誘導したいことはもちろんです。同時に市内の子ども達や若者に、恵まれた自然環境を楽しむ術を

身につけて欲しいこと、またその自然が時に牙をむく災害時の対応力強化、市の良質な食材を活用した防災食の開発・販売で、モンベルは不可欠な存在でした。

県立大曲農業高等学校とは、仙北市の農業振興や田沢湖の水質改善などで事業連携しました。同校が取り組む果樹・花き栽培や加工技術の移入、若手農業者の掘り起こしが狙いです。生物工学部が行う田沢湖の水質改善実験は、大企業も着目する先進技術です。6月にオープン予定の田沢湖クニマス未来館では、「電気分解による湖水の中和処理」の実験紹介や、生成した中和水での魚類の生体展示なども想定しています。既に生保内小学校と検木内小学校の子ども達も、中和水と水道水でメダカを飼育し観察を続けています。

今年も、仙北市のまちづくりに必要な企業などと、新たな事業連携を予定しています。農業分野、医療と健康分野、科学技術分野ほか多彩です。ドローンや無人自動車の実証実験は続きます。これらを市内で事業に活用したり、または市外から起業の若者が住み着いたり、そんな現実的な成果を出す1年になります。